

コロナ禍の海外との EC ビジネス



株式会社クリエイティブ・ワイズ 代表取締役 三宅曜子

世界的なコロナ禍で、海外ビジネスが非常に難しくなっている。私も昨年2月から海外の出張ができなくなり、各国にいるコーディネーターや友人たちとは、Zoom や WhatsApp でやり取りをしているが、やはり直接会って話すのとは違い、難しい。

そんな中で、これまで毎年各地の企業や商工会、商工会議所などをサポートして海外ビジネス支援策の japan ブランド事業を行ってきたが、今回の JAPAN ブランド事業は、コロナの真ただ中で行うようになるため、一昨年0年度事業で UAE アラブ首長国連邦に視察に行った連携企業の事業をやめることにしたが、第2タームで夏場に申し込みをすることになり、UAE の外務省からも依頼が来ていたため、EC ビジネスとして行うことにして事業計画を作り、わずか2か月半しかない状況の中で実施した。

今回は JAPAN ブランド事業で行った海外との EC ビジネスの実態を紹介する。

■ 海外とのビジネスは日本国内ビジネスとは大きく違う！

まず、前回市場調査を行い、非常に好印象であった、日本の『内外美容』について具体的なモニタリング調査によるニーズを調べることから行った。

そのためには、この事業の対象国であるアラブ首長国連邦はイスラム圏であり、商品の中にアルコールや豚由来の素材が入ってはいけないため、それを排除した商品開発を早急に行うことにした。

この国のスキンケアや美容サプリメントは主にヨーロッパから入っているものが多く、自分の香りを持っているアラブ人にとって、香りがミックスしてしまうことを嫌うため、日本のナチュラルで優しい成分と香りがあまり強くない商品が好まれる。

このことは前回の市場調査で分かっていたため、今回の事業は、ナチュラルなスキンケア商品を研究開発している、石川県の [TOWAKO メディカルコスメティック](#)、美容関連のサプリも研究開発しており、元は発酵商品を作る山口県の企業で研究開発のトップをやっていた薬剤師で商品開発研究者が、シュウウエムラ氏から請われて社長になった東京の [イ](#)

[ムダイン](#)、それに広島の熊野町で化粧筆の企画から製造まで行う老舗の[丹精堂](#)の3社が連携（取る・ツメ）し、私が総合プロデューサーとなり、具体的な提案を行えるように様々なプロ達とプロジェクトを組むことにした。

その中で、特に UAE アラブ首長国連邦と日本とは大きく違う部分が多々あることが分かった。

HALAL に則って商品開発をしている中で気が付いたのが、ヨーロッパから UAE に入ってくる化粧品の中には香水もある。この中には必ずアルコールが入っているが、これは問題ないのだろうか。

コロナ禍でアルコール消毒が必要になってくるが、これはどうなのだろうか。

UAE 在住でディストリビューターもやっている、今回のサポート役の方に聞くと、口の中に入れるものは非常に厳しいが、香水などはあまり気にしていないとのこと。

どこまでが HALAL なのかが気になった。

しかし、今回の UAE 用商品開発には、念のためアルコールを全く入れず、サプリメントのカプセルも、本来は豚のコラーゲンを使うが、それもフィッシュコラーゲンに変えて開発を行い、化粧筆の殺菌も紫外線殺菌で対応することにした。

こうして、商品開発をイスラム圏で問題が起きないような内容で制作した。

■アラビア人は、長い文章や説明書を読まない

事業を進めていく中で意外だったのが、アンケートを取る段階で、UAE 在住の日本人コーディネーターに確認を取った時だった。

その前から、在日サウジアラビア人の SE から「アラビア人は簡単な文章しか読まないよ！」と聞いていたため、アンケートもできるだけ簡潔に作り、見てもらったところ、それでもまだ長いので書いてくれないとのこと。しかも何かをプレゼントすることを明確に提示するとアンケートの回答が取りやすいとも教えてもらった。

これまで展示会などで、試食やサンプルを配ると、途端に集まりが良くなり、アンケートも書いてくれるのがどの国でもあることだが、特にアラビア人はそれが顕著に表れるようだ。

UAE の中でもドバイは外国人が 70% いるため、ドバイの隣の国シャルジャで、アラビア人だけにアンケートを依頼することにしたが、それでも難しかった。

非常に簡単なアンケートだと、日本人ならすぐに書いてもらえるのに、それができないとは驚いた。この国のアラビア人は裕福な人が多いが、アンケートの記入などは面倒くさ

いようだ。たぶん、家事などは自らはあまりせず、お手伝いさんがやっていること、何をするにしても、長い時間だとあきてしまうことなどがアラビア人氣質ともいえるようだ。

■ **アラビア人は動画なら見る。中でも女性はメイクアップテクニックなど美しくなることに積極的で、そのような情報は非常に好き**

今回の JAPAN ブランド事業はコロナ禍のため、ECで行うことになり、実際に現地での商品の紹介活動ができないため、[インスタ](#)と[Web サイト](#)での提案となった。

Web サイトでは、主に各企業紹介やこだわり部分、商品紹介などをシンプルにまとめた。また、インスタでは、美容関連商品とメイクアップテクニックを動画で紹介することになった。

私は長くメイクアップアーティストとスタイリストをしていたため、問題なくできたが、とにかく時間がかけれないため、5分程度にまとめなければならない。しかも UAE の女性たちは頭にヒジャブという布をまいており、顔の中でアイメイクをきっちりしていることから、アイメイクを中心にデモンストレーションを行い、動画撮影した。最初はモデルを使い、実際のメイクアップを行うことにした。



UAE の女性

しかし、どうしても説明をしながらベースからファンデーションからポイントメイクを行うと5分では無理だったため、自分の手を顔に見立てて行うことにした。

この出来上がりを UAE の女性に見てもらおうと、短時間で明確に紹介したため、皆がわかりやすいとってくれた。これが静止画やリーフレットだと、たぶんほとんど見てくれないと思われる。

また、紹介コメントも、アラビア語の文字は右から左に書くため、商品パッケージの使用法記載などは、右揃えでくねくねした文字なので、何となく横に倒れそうなイメージになるが、これが一般的なのだ。

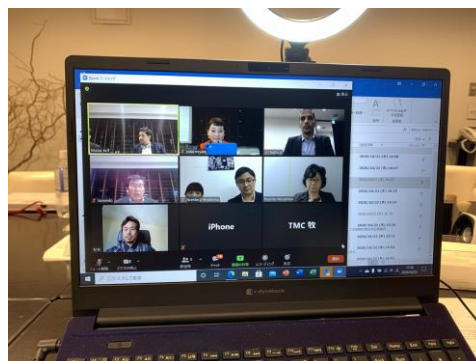
翻訳や通訳などは、アラビア語の場合非常に難しく、ただ読める、書ける、話せる程度だと、現地の人には全く通じないため、日本には数少ないアラビア人で日本に10年以上住み、国立大学をトップで卒業したプロにお願いした。しかも彼はコロナが流行っている12月に事業者の商品サンプルを UAE に持って行ってくれた。アラビア人はドバイだけ3日間の滞在なら、日本の PCR 検査の陰性証明書があれば往復できるのだが、サンプルを持って行ってもらった後、再度2回目に1月にドバイに行き、同様に現地のディストリビューターに後、自国のサウジアラビアに行ったら、足止めにあい、いまだに帰国できないでい

る。大変な世の中になったものだ。

日本もオリンピックが危ぶまれているが、ドバイでの万博もこの状況が終息しなければ難しいと思う。とにかく世界中早いコロナ終息を願っている。



この時期ならではの参加者全員マスク姿



参加メンバーと UAE とで Zoom 会議の様子

－ JAPAN ブランドの成果はこちら －

BIYOU BRANDS
JAPAN



※写真は全て筆者撮影

経済産業省 中国経済産業局 電子広報誌

Copyright 2021 Chugoku Bureau of Economy , Trade and Industry